

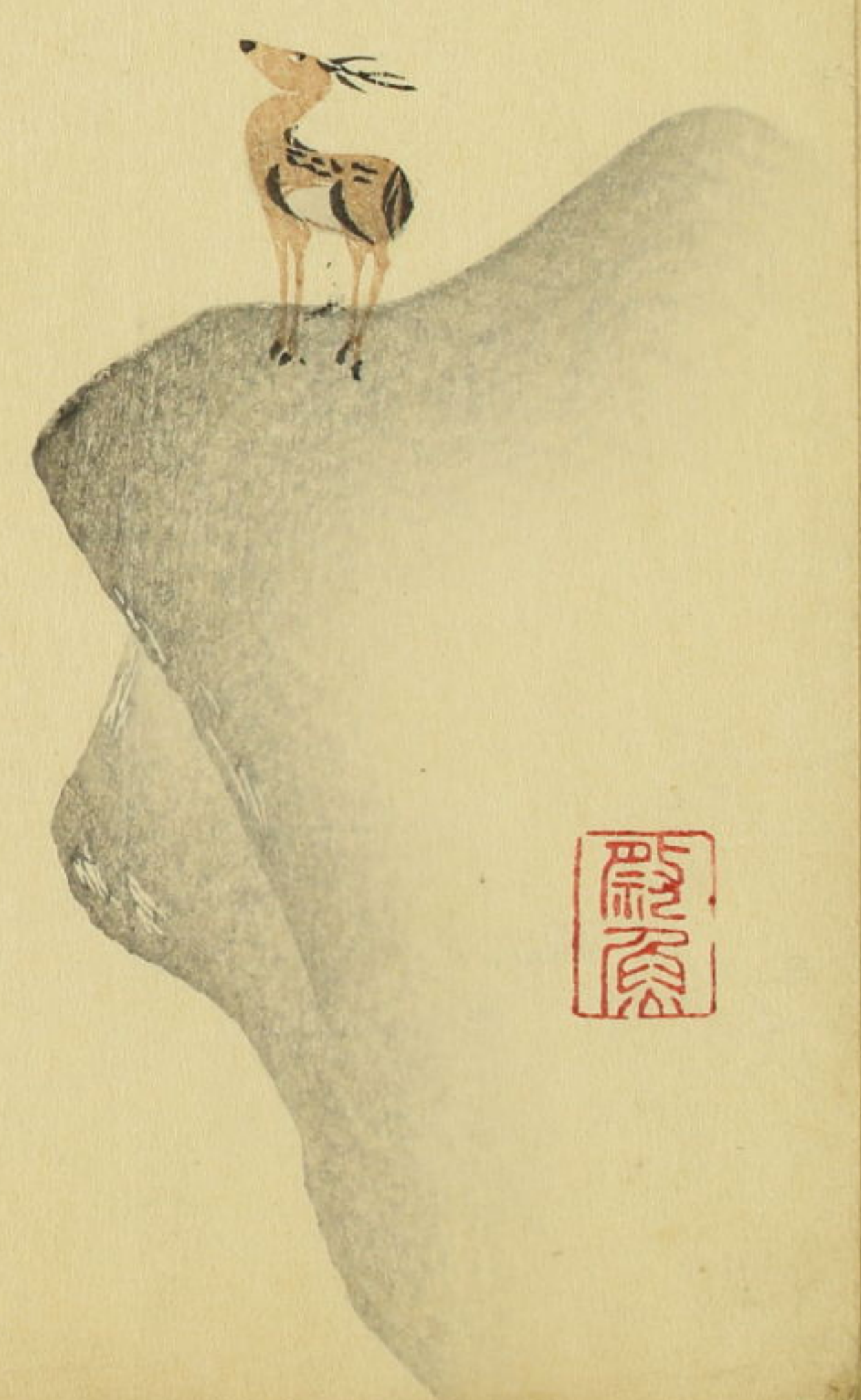
Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, likely the title or author's name, written on a strip of paper or the cover itself. The characters are dark and somewhat faded, but clearly legible as traditional Japanese calligraphy.

雲英文庫
文庫31
B29
早稲田大学図書館





80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7



月澄やいそ海を渡る人の声 異危
二三舟屋のきこ月おが 不角
厚岸やりの流しおねれき 音室

葉を揺るおのつきぬみ紫月 月夜
草花をひらも乾くい露の死 岸を

交撫きまもおろふ月と音 挑登
露の月を又もくハ酒をまが 曉月

ささきやじよ下りる人若と唇 赤糸
ハ鞠乃糸をく梅をとしもろう 赤糸
るすりけの白糸こもりのつ 公糸
るすれや思ひくけぬよと糸 赤石

丙辰秋

7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

さけ好乃名も 雪
さふまの 福さか
雪月小ころい 翁お
さしひ乃か乃 看山
本ふして 梅のさふ

小屋風乃ふ三見とめとやとる雪 梅一
一彩つとい小口とく梅さく梅
さふ乃乃福小梅也雪乃星梅の
新し梅梅ささるるさる梅さ梅や
梅ささる乃乃さへとささる梅さ
雪乃ささる梅ささる梅さ
本中ふたふつとささる乃乃雪
去乃乃ささる梅ささる梅さ

梅梅さして日とささる梅さ乃さる 看屋
ふさふさのふさかり 梅の白い 梅頃
一ささる乃乃ささる梅ささる梅さ
ふささる乃乃ささる梅ささる梅さ
ささる乃乃ささる梅ささる梅さ



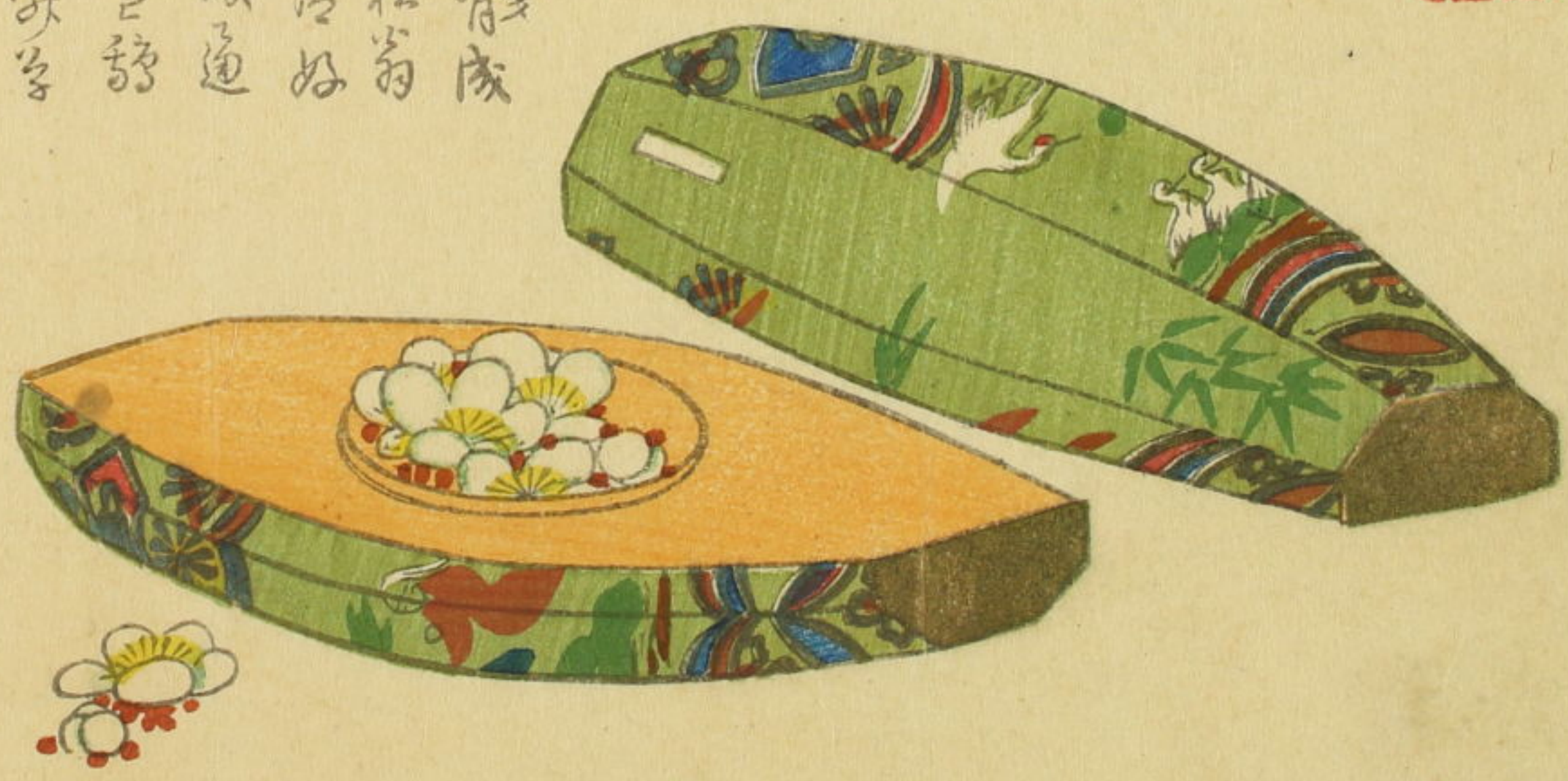
長水
[Red Seal]
[Red Seal]



村真


五七のしき神代のはやほきなり
 系は本の陽をうらむるる口を
 滑ちしは拍子屋やういひそめ
 せ道き舞うけの侍る也 神
 ぬうその鞘のまらやわりの也
 せうりておくと嬉しき子屋也
 靴つふふ梅ゆひけりて中まや
 梅もも 沙花のまゝさくらを
 神の本のいそれもすて梅のま
 ちふらちこももこもて梅のま
 くめうまをけしすはつの日おが
 たらま乃るはうりき屋か
 唐丁ユ 流りき梅のま
 老をまか 流りしういひま
 一丁のまて 起るまをさくらめ乃花

上
 智成
 松翁
 信好
 坂通
 吉語
 梅雪
 不
 ち
 赤
 衣
 乙
 然
 此
 一
 時
 三
 梅
 竹
 節
 竹
 節
 竹
 節
 井
 邊
 子
 河
 日
 打
 花



秋意



海の又このまなこは好らぬ

あまの

せりやうのねまはる人あはる

標影

夕風はひらけ入るはるはる 其樂

月代の甲の夕刻るや小刀魚 文昇

草摺や小舟まよふ舟のりもの 涼ね

月代やまはる風かーりー 高女

白あたまのねむりやまよひぬ 松門

さうじやうのちゅうじやう 松林

白菊やまきぬ 小知

切草のまきぬ 井賢

石部
 森本半山



知... 船... 可...
 知... 船... 可...
 知... 船... 可...

知... 船... 可...
 知... 船... 可...
 知... 船... 可...

知... 船... 可...
 知... 船... 可...
 知... 船... 可...



秋草




月より入る
 加ふる
 月代やひらけり
 ひらけり

法師の池
 名月やもの
 有れや

月代や
 又後
 十
 月代や

名月や
 又
 水

星八地

梅




昔くしふ新日と

ふくせ聖梅う乳

イヨ
 梅蹊

方々う乳くしふ新日と梅う乳
 あくくうふく入に日あや三ヶ日
 黄やややそんそんそんそんそん
 正つ黄やとして起すそんそんそん
 正月やうそんそんそんそんそん
 三日たつそんそんそんそんそん
 入や聖う乳の道里供
 供教座も正月う乳や豆火燵
 梅う乳う乳う乳う乳う乳う乳
 美代此直方と梅う乳う乳う乳
 梅代う乳う乳う乳う乳う乳う乳

忠甫
 梅英
 分家
 挑岳
 全九
 三正
 化實
 智步
 石叟
 未守
 公成





秋亭


名月や春の海にさかすまの
 音のなきをきかぬまの
 水に隈なくさかすまの
 漁り乃や舟まきさかすまの
 名月やあはれさかすまの
 望みなく月まはる舟の煙る
 蕉女

蕉の秋

7
8
9
80
1
2
3
4
5
6
7
8
9
90
1
2
3
4
5
6
7
8
9
100
1
2
3
4
5

英子
印

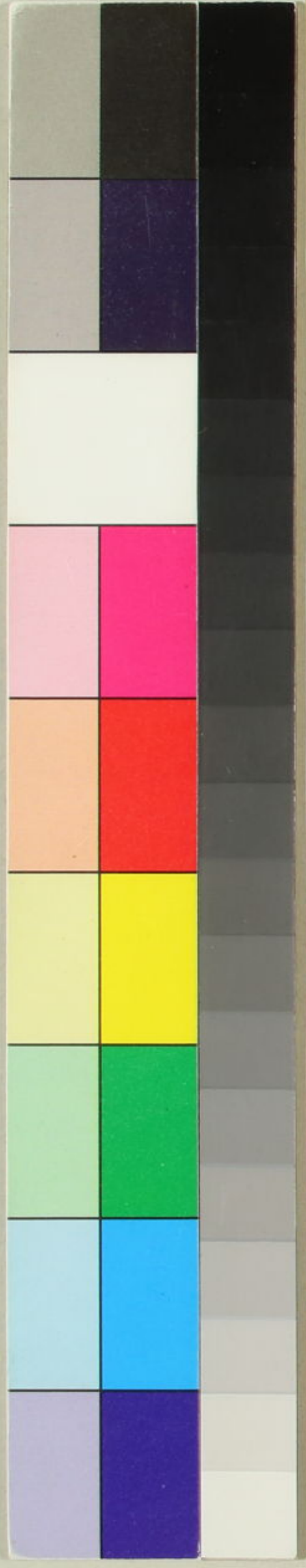


とまはるゝ麻のやわらう坂
換紙し物さる布やこ三年
物さるゝ一と近麻のさ外
さる物さるゝこ入くさるゝこ
山さるゝ物入さるゝさるゝさ
さるゝやゆさるゝ物さるゝさるゝ
さるゝさるゝ物さるゝ麻のさ外
さるゝさるゝ物さるゝさるゝさ
さるゝさるゝ物さるゝさるゝさ
さるゝさるゝ物さるゝさるゝさ
さるゝさるゝ物さるゝさるゝさ
さるゝさるゝ物さるゝさるゝさ

辰乃良

梅園社

鼎
井
眉
眉
可
不
辰
字
字
字
字

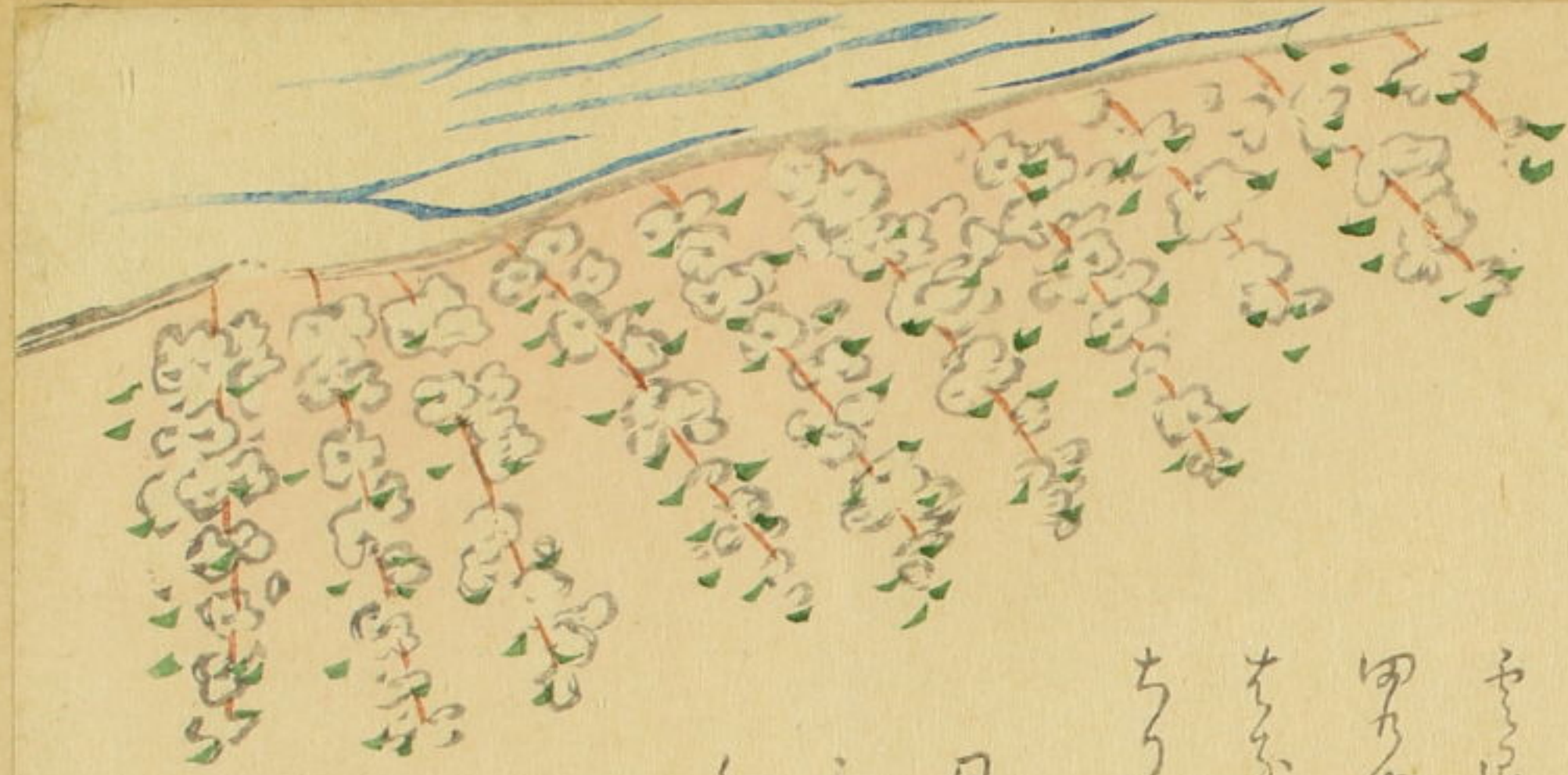




茶の味も物自りやあつた
 松の葉も味あり梅も味あり
 人の心も味あり梅も味あり
 下里や茶の味も物自り
 昔の先きも味あり梅も味あり
 春風も味あり梅も味あり
 人の心も味あり梅も味あり
 行くも味あり梅も味あり
 初風も味あり梅も味あり
 鏡花も味あり梅も味あり



茶
 六
 [Red Seal]

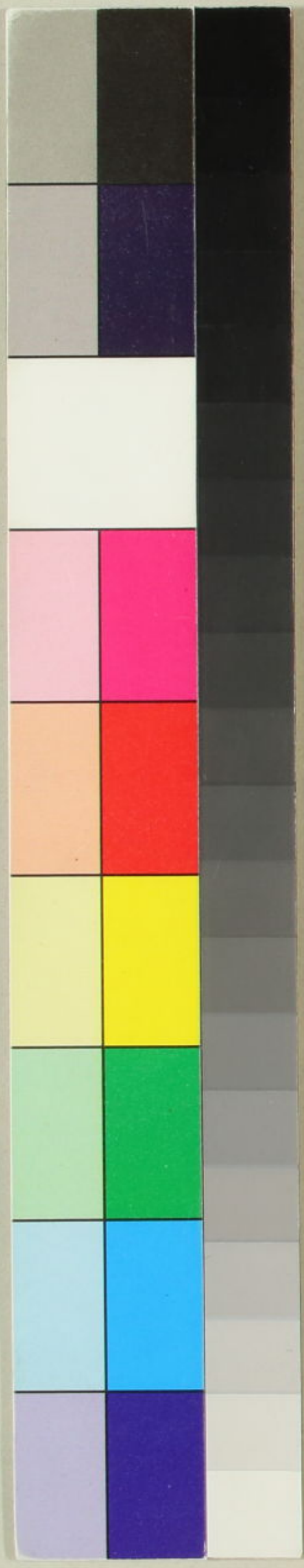


しほりゆもりそよやそよけりけりけり 梅影
照りきんさききききやうあ乃すき 梅松
そよきやふふ 梅よゆふ 阿の里 玄圃
針きけのあふふふふふふふふふ 梅人

りほりりやせほり 酒うそりきうら ちんちん
さりのころんききききやちんちんきき ちんちん
ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

種ちりるるるるるるるるるるるるる 糸 目影松
ねききききききききききききききき 山 目影松
やうほや 梅くくくくくくくくくくく 山 目影松
甲か甲くちりくちりくちりくちりくちり 龍川
たふふふふふふふふふふふふふふふ 山 目影松
ちりちりちりちりちりちりちりちりちり 山 目影松

月ころのあつるるるるるるるるるる 怪一
ふと梅ききききききききききききき 三秋三
ふふふふふふふふふふふふふふふ 山 目影松
かろろろろろろろろろろろろろろろ 山 目影松





真石
 (Red seal)

春の鳥はさうけきくはるの月之佳
 松屋
 一歩つたかき向やのあや月
 春画
 大和
 梅の三
 松屋
 能毎
 春月
 交故
 善妙
 照おるおく松の海々秋乃月
 可兆
 実穩

7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

あめ
宋 丑 中



あめやうの巻

あめやうの巻の巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

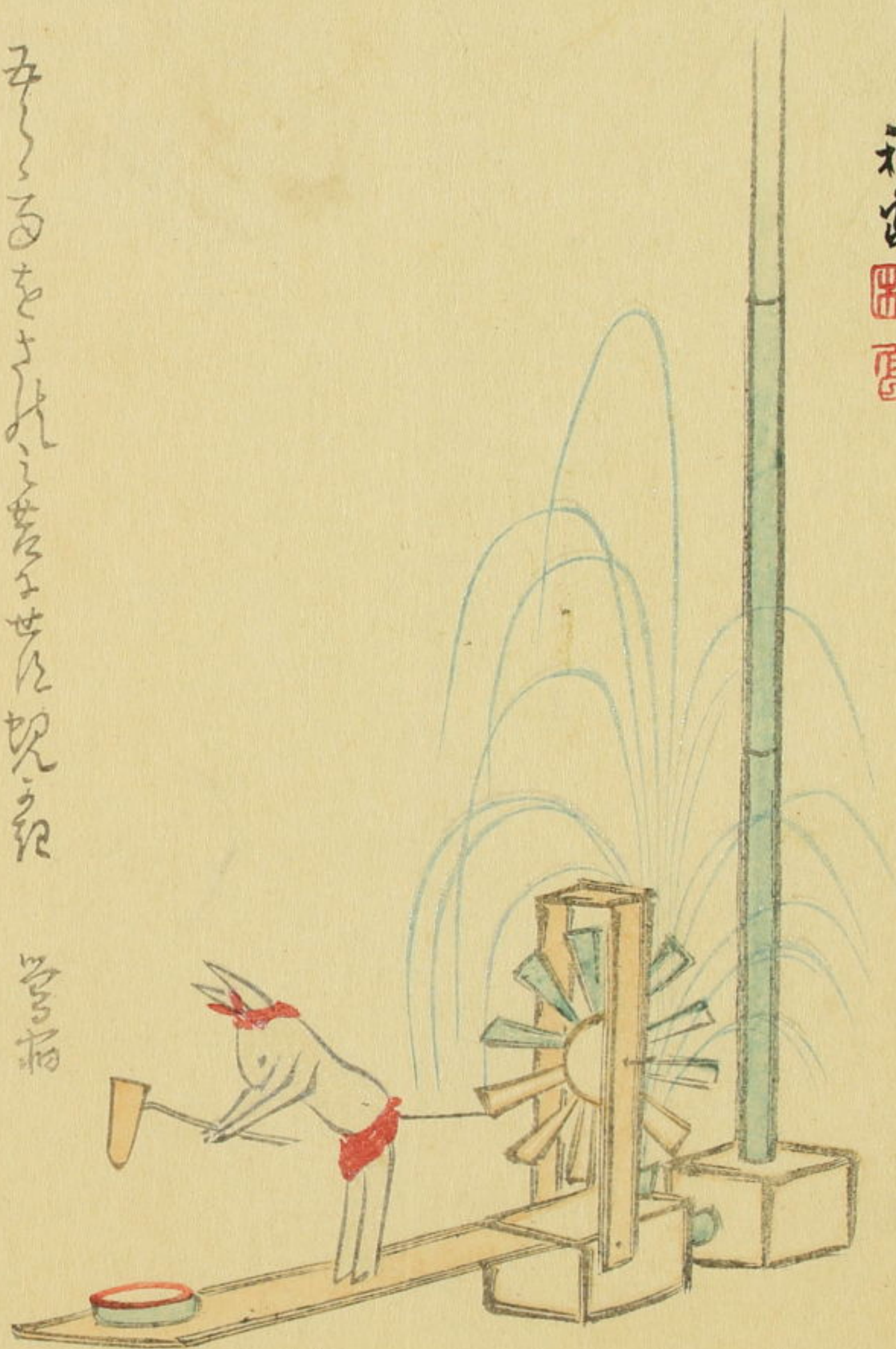
あめやうの巻

あめやうの巻

あめやうの巻

秋草





五つをさしたれど世に世に現る
 象うけや田ち極まぬおれを
 夕時をいひの竹うや 菊力ま
 四方へうんすゝるれり 燈籠の月
 雲海をやうきも竹く 淋雨を
 くのうきそ 霜よるよる 相方花
 こら 月をさす 阿まや ちんちん
 り ちんちんや 昔す ちんちん 乃 浮
 さ ちんちんや ちんちん 地子 五倍の
 松を ちんちん ちんちん ちんちん
 ちんちん 乃 ちんちん ちんちん ちんちん
 ちんちん 竹を ちんちん ちんちん ちんちん

菅橋
 素花
 菅
 有人
 筆一
 公卿
 老童
 其言
 梅園
 松多
 丹舟ぬ
 松唯

氷うむき乃 ちんちん 乃 瓜あま
 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん

目打

ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん
 ちんちん ちんちん ちんちん ちんちん
 ちんちん 乃 ちんちん ちんちん ちんちん
 ちんちん 乃 月の ちんちん ちんちん ちんちん

梅

中 舟 是 也
うさる



舟の多波とる舟籠うし 舟を鹿
名もなき舟に舟乃月乃舟 舟樓
名月や人舟の舟乃舟乃舟 舟人
舟乃舟乃舟乃舟乃舟乃舟 舟人
舟乃舟乃舟乃舟乃舟乃舟 舟人
舟乃舟乃舟乃舟乃舟乃舟 舟人
舟乃舟乃舟乃舟乃舟乃舟 舟人
舟乃舟乃舟乃舟乃舟乃舟 舟人
舟乃舟乃舟乃舟乃舟乃舟 舟人

7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

松
階
印



竹をよみ松をよみ...
 廊下をよみ...
 縁側...
 書斎...
 落し...
 松階
 可也
 姑山
 楽山
 西肥生板
 如松
 素松
 夕陽
 雜雅
 雪梅
 空天
 雪室



8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6

白籟



名月や霧もはるるあとの照り
あつきりとほつる月のえはうれ

東原
雪舟

名月やあつちやさうくはるるまて

松雪

名月やはるるあひくさうの葉も

尚考

名月ればはるるほくはるる

英彦

まつらうやまより窓より月のけ

堪久

名月や羽さすはるるのわくれを

言嘉

夕景やはるるはるるはるる

とね
東原

名月ればはるるはるるはるる

一帯

名月やあつちやさうくはるるまて

松を

名月やはるるあひくさうの葉も

松雪

名月ればはるるほくはるる

松風

子秋

松窓



7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

壽老集

入本吉野
長考者順

風俗乃そまをふむ二本の天
あは其こ終病れ、病り終るまで
日終ゆき友重の医所山宮の居れ
なう
しんくろの婦もまゝ壽老集の一巻を
修し、田原あゝ山宮を志行か、
まゝ、松友の乃を、守り四方の天宮か、
河の 投たあゝむるうを、松山もこれと



折 ワセイ ワユメ

十連中

雲の院 厩揚子の祝に 喜しく、懐り 嬉しく、はるかなの歌
玉上り、 伴の若生、 娘、うらなを舞、う破る、夕暮り、上り、

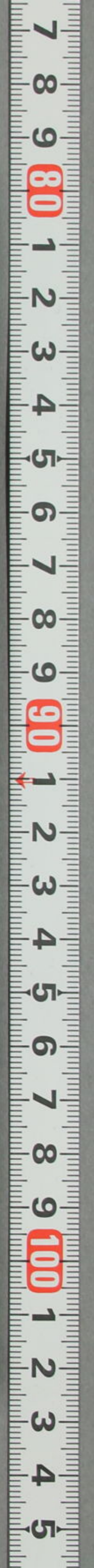
替の一声 小百ぶ一杯 口先人、何れ、無、内、宛、持、
は、文、る、 巨魁の子、話、ま、り、ま、る、の、兵、 大、丈、丈、

拵に込む、向文、陸井、病院、配、入、山陽の、孝家、政、高、本、の、象、
花 摘、壽堂、山、島、大、人、関、京、物、屋、進、ス

副 實、玉、換、大、東、香、島、九、斗、枝、芝、兼、
不、途、通、候、風、半、叶、玉、市、貫、親、 邊

色、空、の、掛、橋、子、第、三、巻、梅、輪、午、大、盆、 浅井、住、之、
傘、 後、巻、三、重、箱、 盤、余、是、準、ス、元、春、 曙、 二、木

補 四方、摘、君子、 取、 知、新、
旧、九、月、廿、昔、限、延、壽、 集、所、 浅、井、 森、田、屋、店、 花、田、
一、官、連、



音形



くまぐつあせし
んぞめくせし

桐枝

あつせし
ちんちんちんちん

柳葉

あつせし
ちんちんちんちん

芦鳥

あつせし
ちんちんちんちん

松枝

あつせし
ちんちんちんちん

萩枝

あつせし
ちんちんちんちん

丁子

あつせし
ちんちんちんちん

麻丸

あつせし
ちんちんちんちん

豆福

あつせし
ちんちんちんちん

梅鼻

あつせし
ちんちんちんちん

梅枝



80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7



雪のつや
梅のつや
梅のつや
梅のつや

梅のつや
梅のつや
梅のつや

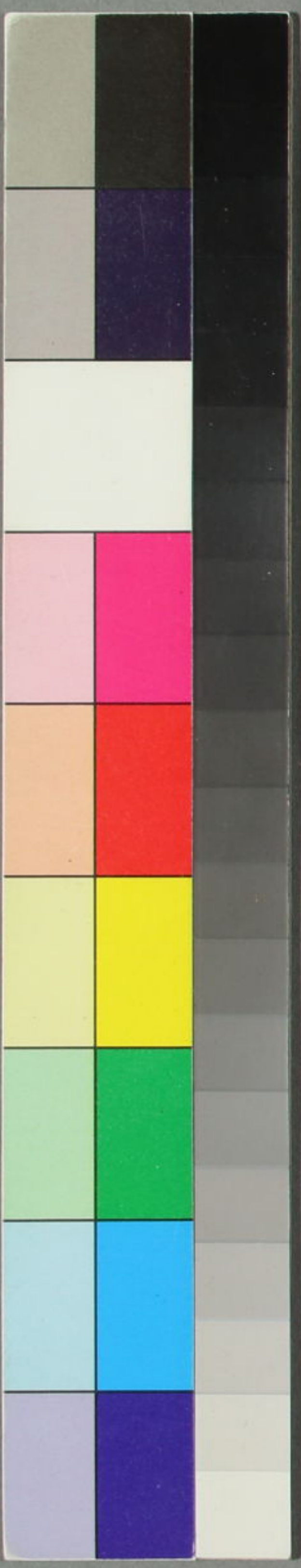
梅のつや
梅のつや
梅のつや

梅のつや
梅のつや
梅のつや

梅のつや
梅のつや
梅のつや

梅のつや
梅のつや
梅のつや

梅のつや
梅のつや
梅のつや



斜休扱ふ梅

柳相 



并筆や添き添

早の七少り 早病

居布袋の女

さうや東山 ナカイ 眉松

とんちあつちや官の鈴乃言
初まの海さうさうや平標さえ
人を侍目あや中中梅の花
昔の相模よふくしてまや庭の井戸
ゆめまてやあまあたり月
一日アアの鶴りつ柳くま
まの海さう梅くねとやむの女
戸口く梅の膝を初せり

七少 柳史

竹世

杏勝

不遊

去智

エトの唄

柳史

ナカイ 女

秋亭
印



あゝ海や月夜
月夜

松竹ありあり
あゝ月夜
鶴

飛くふもき
つや月乃人
井氣

猪原の清くぬきりや海乃月
文夜
清水

3
9
80
1
2
3
4
5
6
7
8
9
90
1
2
3
4
5
6
7
8
9
100
1
2
3
4
5
6

羽二重ふはるる色や月の空
篠つりにまうけはめてふ乃月
凍例
お風

昂今ふ澄透るや茶乃月
船渡り病をばまらる月えが
其鼻
作人

月乃出るるや茶乃月
印さるるや茶乃月の梅
朱山
作鬼

ふり申あ城々の歌向や月えが
眉既
甚也

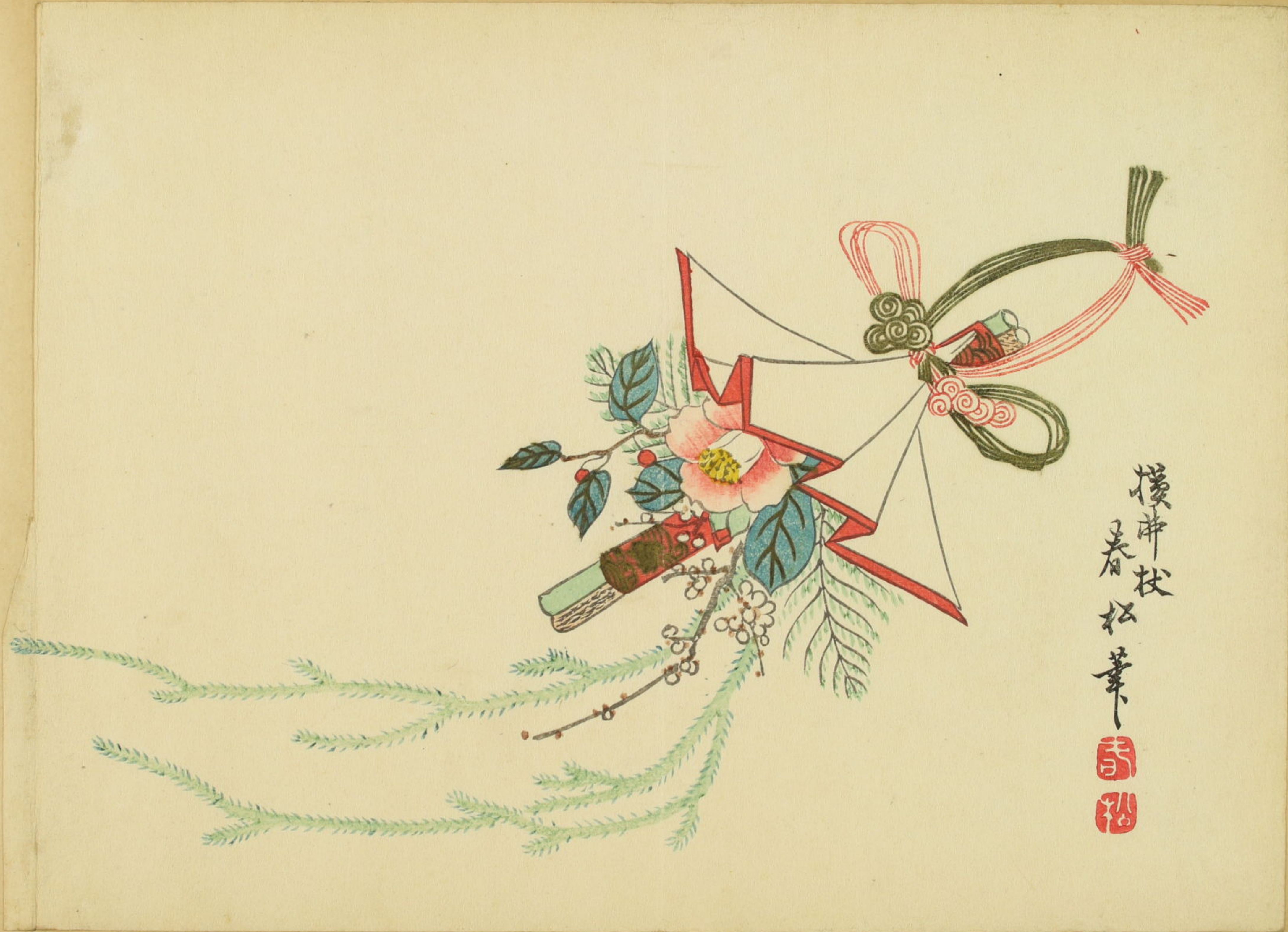
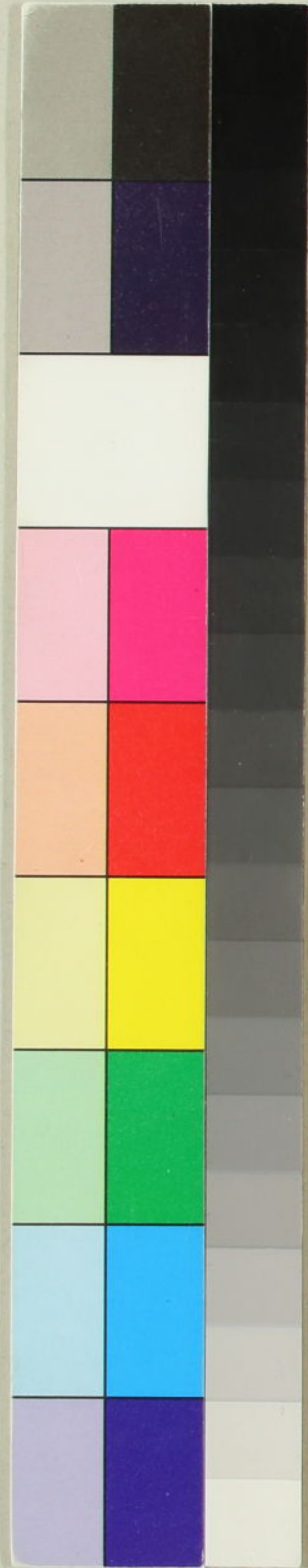
名月やを茶乃月
歩居ふる茶乃月の光乃月
月人
芦笛

夕け入るる歌立
梅乃月えが乃月
告座
市依

海乃乃一乃
や茶乃月えが乃月
其升

無茶乃月
梅茶

寅の中紙



横井杖
 春松葉





3 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6

あつらひのついでに侍 丁北

あつらひのついでに侍 公暇

あつらひのついでに侍 梅牙

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

あつらひのついでに侍 茶室

月の梅雪乃妻のこころ一々う
 萱唐
 若歳とよみふくまやうん乳
 采老
 そのの巻ふゆさうおるおりか
 去毎
 振玉珠ふたふく糖の初りか
 王巴
 誰かまをさる乳持きう梅の月
 去娶
 牛もや否おるこころの初まふ
 梅元
 吾一おまは蜂の中て打たれお
 日化
 魚の方かうあつてりわさるんこ
 沖溪
 一村の雲乃志ぬるとんこれ
 湖風
 夕乃うきうはくさう金屏風
 甘木
 長石くも船寄さう初おふ
 好一
 牛もこころ引中まや初り乳
 京花
 追従よる尾をく押ぬ梅雪ひ
 丹柯
 初霧やう運立にけも初る磯迄
 可出

巳酉書



花月


あめ
 まつり

まはるあけあけ乃小森の枝を

花月

は乃予らるる日あり秋乃
 空を渡る鳥の影を
 みるはては月をみる

寺歌
 三の終
 支仙

かゝるやうけぬ月乃光る如
 影出て月まやうや松立
 又々々々々々々々々々々々々々々々
 名月も来らば涙もや西乃

仙探
 春川
 花月
 秋香

秋風やあけあけ乃月乃光る如
 空を渡る鳥の影を

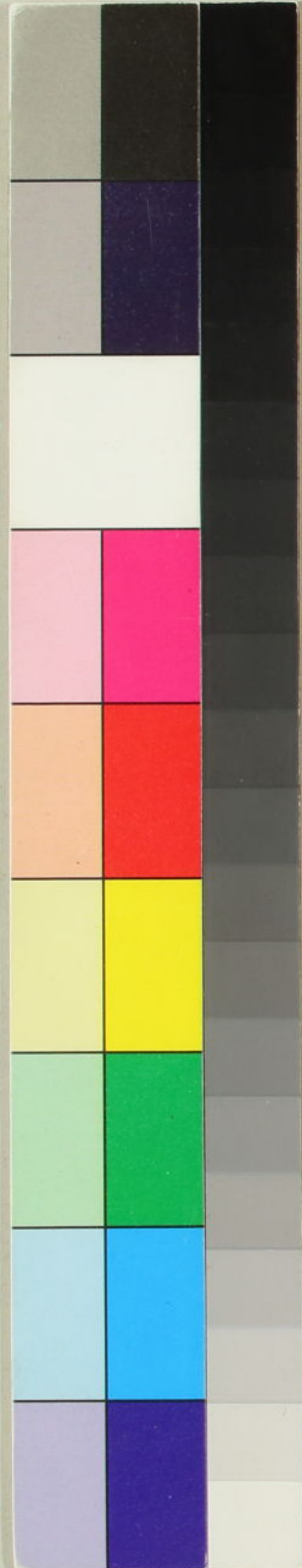
及美め
 梅笑め

予らるる月乃光る如
 空を渡る鳥の影を
 みるはては月をみる

精彦
 精光
 鬼斗

たのむたうけぬ月乃光る如
 影出て月まやうや松立
 又々々々々々々々々々々々々々々々
 名月も来らば涙もや西乃

花月
 秋香
 相芳



60



8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

月の階ふね

階のふねもあつたふねのあつたふね
あつたふねもあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね

あつたふねのあつたふね



あつとことつむまに物さるる
海まきく瑞々しく己ゆきまわが
七家やうらぬきみーちもそほ
ふ引とあひのちやゆあーうけ美
ふとくける覚の水やをりーふま

春圃
桂香
果山
小陸
秋暉

吉松や左をくさうぬ 毎 びりり
竹ともすを肉ううそあむ少あか

月人
影左

静ぬのうりり 静ぬや 静ぬうーめ
つあ引也 うらんでまももいさく
ふりくハカリのまらり 松乃上
昔草也 うらぬ松乃まらりーみ
あつとぬあまうまきりーまうはま
こはさきぬあらりそり編ー約のま
田畑りの必向もまらりーくさりーか
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま

梅人
春玄
東矢
笑乃
竹香
梅香
文加
梅香
急水
甘松

万々也あ何工 静ー 鋪乃らう
大玉主

春圃
梅香

あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま

山紅
管優

あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま

梅晴
清菘

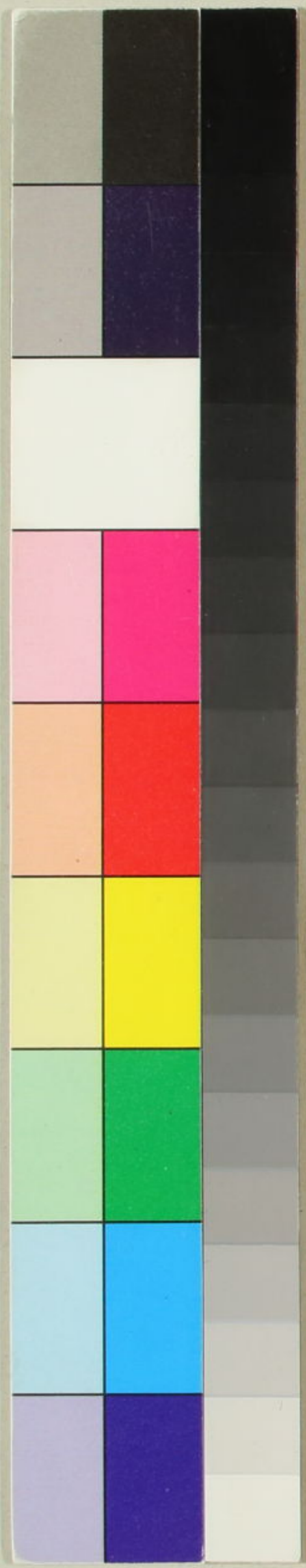
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま

五笑
松子

あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま
あつとぬあまうまきりーまうはま

梅影

あつとぬあまうまきりーまうはま



Handwritten signature and a red seal.



8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

わたりつけし物きほひやこころあはれ
福をまやけしあせし一あつらひ
うけあはる喜ゆこころりお経を
まの日のよき白木のつらきこころ
きしや一暇し事この悔
あはれいみぢりりこころり
まうまの神を ちきこころり
たやんま ちきこころり
うしすちきこころり
みおきこころり

梅景
美様
名雪
松松
喜團
花雪
玉喃
柳左
卜隣
杜囃

ちか松ふ ちきこころり
あはれおのちきこころり
百とちや ちきこころり
せんさちおのちきこころり

妻め
平吉
松居
法接

子息乃をまをてこころり
ちきこころり

ちきこころり
おのちきこころり
おのちきこころり

目打左
月人

ちきこころり
ちきこころり

草居

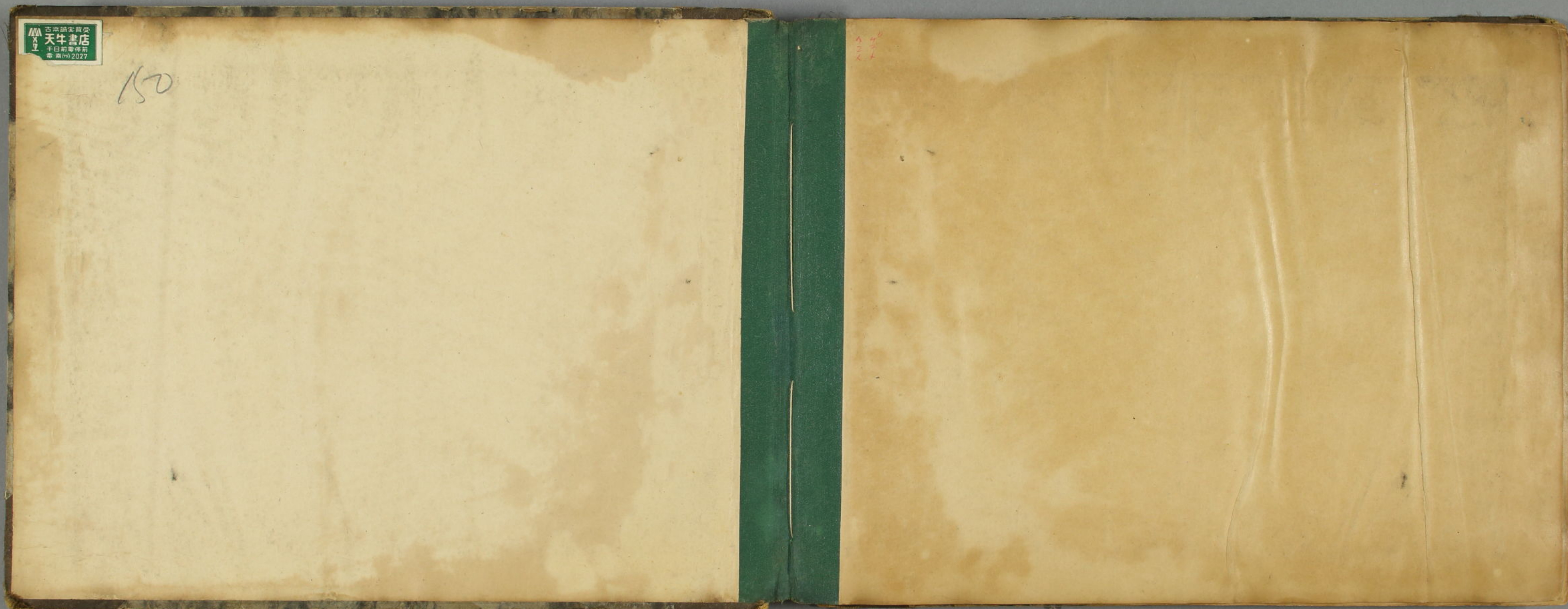
唐申ま

8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5

春松葉
紅印



<p>春のやうな 花のやうな 松のやうな 葉のやうな 赤のやうな 花のやうな 松のやうな 葉のやうな 赤のやうな 花のやうな 松のやうな 葉のやうな 赤のやうな 花のやうな</p>	<p>松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花</p>	<p>松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花</p>	<p>松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花 松花</p>
--	--	--	--



古本圖書買賣
天牛書店
平日照常營業
電話(99)2027

150

150





後
前
字
訓
字
訓